

奥羽大学報



卒業証書・学位記授与式

目次

平成28年度卒業証書・学位記授与式	2
平成28年度学位授与論文題名一覧	4
卒業記念贈呈式/歯学部卒業記念パーティ/薬学部謝恩会	5
歯科医師国家試験/薬剤師国家試験/全学FD・SD研修会/ 福島県地域医療介護総合確保基金事業・無菌調剤室共同利用研修会/ 学生ボランティア事業報告会について	6
無垢サロン/自著を語る	7
厚生労働大臣指定機関へキャリアコンサルタントの登録/ 歯学部国際学会参加報告/附属病院	8
奥羽大 now/スポット校友会	9
歯学部研究紹介	10
薬学部研究紹介	11
父兄会	12
本学関係新聞記事案内(平成28年4月～29年3月)	13
同窓会だより/同窓生のひろば	14
退職によせて/人事	15
奥羽大学の理念・目的/ 平成29(2017)年度 奥羽大学オープンキャンパス実施日程	16

平成28年度卒業証書・学位記授与式

平成28年度卒業証書・学位記授与式は3月10日(金)午後1時より本学記念講堂において挙行され、歯学部歯学科31名、薬学部薬学科89名に卒業証書および学位記が手渡された。また、大学院修了者3名及び博士論文提出者1名に博士(歯学)の学位記が授与された。

式典は多数の来賓と父兄及び教職員参列のもと厳粛に進行され、来賓を代表して本法人小李克男理事の祝辞と、清野和夫学長の告辞があり、引き続き卒業生代表として歯学部歯学科 加藤永太さんが答辞を述べた。

さらに、壇上において卒業生、大学院修了者及び博士論文提出者一人ひとりに卒業証書並びに学位記が授与され、閉式となった。

本学で歯科医学又は薬学を学んだ卒業生が喜びと感謝の念を持ちつづけ、心豊かな社会人となることを願っている。



祝 辞

理事 小 林 克 男

皆さん、晴れのご卒業、誠にめでたうございます。只今、卒業証書、学位記を授与され、新たに歯科医師、薬剤師として、本学を巣立ちゆく皆さんに対し、法人を代表して心よりお祝いを申し上げます。そして、御子弟の教育に温かい理解を示され、本日の卒業式にご臨席いただきましたご父兄の皆様にも「無上の喜び」と拝察いたし、重ねてお祝いを申し上げます。

卒業されます皆さんにとって 今日までの長い間には、様々な経験をなされたことと思います。限られた時間では到底語り尽くせぬ程の数々の経験は、「思い出」という一括りの言葉にとどまることはなく、必ずや皆さんの人生に豊かな実りをもたらす、良質な糧となってくれることを信じております。

とりわけ最後の学生生活である本学で、皆さんが「物事の本質を捉える大切さ」を学んで行ってくれば、私共にとってこれ以上の喜びはありません。

これから後、皆さんが常に良識と善意を備えた、立派な歯科医師、立派な薬剤師として、地域社会

に貢献なされますことを願ってやみません。

何事も一朝一夕に出来ることばかりではありませんが、困難が全てでもありません。

今、自分の前になすべきことがあれば、できぬ心配をするよりは、できたときの喜びを心に描いて、やってみる事です。

失敗は成功の母、何度でも立ち直る努力をいとわなければ、くじけることは恥にはなりません。

今日の仕事を明日に延ばさず、今日の仕事としてやり遂げる事です。それを繰り返し、積み重ね続けていく先に更なる可能性が生まれ、目標は達成されます。

福島県を代表する偉人野口英世先生の言葉を贈ります。「努力だ、勉強だ、それが天才だ。誰よりも、三倍、四倍、五倍勉強する者、それが天才だ」

結びにあたり 卒業生の皆さんに喝采を贈ると共に、御臨席の皆様様の御健勝を祈念致しまして、私の祝辞といたします。

告 辞

学長 清野和夫

卒業生の皆さん、ご卒業まことにおめでとうございます。ご両親様をはじめご家族の皆様には、今日の日を大きな喜びをもってお迎えになられたことと、心よりお祝いを申し上げます。

本日、ここに、学校法人晴川学舎理事の皆様をはじめ、ご来賓の方々と、卒業生のご両親様、ご家族様のご臨席を賜り、平成28年度卒業式を挙げてきますことは、本学にとって最も大きな喜びとするところでございます。

本学は、「人間性豊かな人材の育成」を建学の理念に掲げ、1972年、東北・北海道地域における唯一の歯科大学として設立され、2005年には、福島県で初めての薬学部を創設いたしました。以来、本日で歯学部は4,137名、薬学部は702名の卒業生を世に送り出すことになりました。卒業生の皆さんが本学で培った「豊かな人間性」は、歯科医師、薬剤師として備えなければならない精神であり、「病める、弱れる、悩める」患者さんと向き合うために大切な「思いやり」の精神でもあります。この精神を生涯持ち続け、これから待ち受ける医療の現場で思う存分に力を発揮していただきたいと願っています。

振り返りますと、2011年、皆さんが入学した年は、3月11日に発生した東日本大震災の傷跡が生々しく残っている時期でした。大きな余震が続き、東北新幹線や高速道路をはじめとする交通機関にも混乱が生じている時期でした。それに加えて、福島県は東京電力福島第一原子力発電所から飛散した放射性物質の影響を受け、教育機関の授業再開が他県よりも遅れていました。本学は、震災による校舎の損壊箇所をいち早く修繕し、4月20日には授業を開始いたしました。皆さんの入学式は4月23日でしたが、この講堂はまだ修繕されておらず、隣の第二講義棟で行ったことがついこのあいだのように思い出されます。この大震災がひきがねとなって、自然災害への対応や原子力発電所をはじめとするエネルギーの在り方について多くの問いかけが行われるようになりました。日本の社会の仕組みや、価値感、ひとの生き方、さらには、生きるということの意味そのものも問われました。これまで、当たり前のように過ごしてきた日常が本当にそれでよかったのか、エネルギー問題をはじめとして問い直されたのが、この大震災がきっかけでした。皆さんが、こ

の時代に福島県で過ごしたという経験は、ほかのどの世代の誰もが持ちえないことですので、生涯の記憶として持ち続けていただきたいと思います。皆さんの経験は、自分自身をさらに成長させると同時に、人々へのより大きな貢献を生み出していくための原動力になるはずですよ。

震災と放射能の実害、それに続く風評被害のなかでの6年間、皆さんは懸命に努力して本日の卒業式を迎えたわけでございます。人生のなかで最も多感な青春時代を過ごした郡山の街、奥羽大学のキャンパス、そして多くの友との出会い、恩師の先生、お世話になった職員、どれをとっても皆さんにとっては宝であり、一生忘れ得ぬ思い出でもあります。

皆さんが卒業するに当たって、もう一つ忘れてならないことにご両親様からの愛情があります。いつでも、どのようなときでも皆さんを温かく見守って下さったのはご両親様であります。この6年間にご両親様からいただいたこの上ないお力添えに対して、一生、感謝の気持ちを持ち続けていただきたいと思います。

卒業する皆さんは、歯科医師あるいは薬剤師として社会に巣立って行くことになりますが、実社会においては自分ひとりの力だけで思いを成し遂げることはできません。それには自分を取巻く多くの人々と共に協力して行くことが必要になります。社会のルールを守り、思いやりの心をもって接すれば、周囲の協力は得られることと思います。本学の建学の理念である「豊かな人間性」を備えた皆さんですので、必ずや社会に溶け込み、それぞれの思いを成就できることと確信しています。奥羽大学の卒業生としての自覚と自信を持って今後の人生を歩んでください。

超高齢社会においては、歯科医師も薬剤師も国民の健康維持と増進にとって、なくてはならない職業です。本学で学んだ高度な専門知識と技術を基に、地域医療に貢献し、患者さんから信頼される歯科医師、薬剤師となって活躍されることを願っています。

むすびに、皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。告辞といたします。

答 辞

卒業生代表 歯学部 加藤 永太

学び舎から仰ぎ見る安達太良の稜線に、春の光がきらめく季節—私たちは、卒業の日を迎えることができました。本日は、私たちのために、このように晴れやかな卒業式を挙行していただき、卒業生一同心より御礼申し上げます。

また、理事長先生、学長先生をはじめ、ご来賓の方々のご臨席をいただき、身に余る激励のお言葉を賜りまして、誠にありがとうございます。

顧みますと、六年前の東日本大震災の年に、私たちは奥羽大学に入学いたしました。震災の爪痕はあまりに大きく、多くの人々の平和な日常を覆してしまうものでした。その影響で、入学の日程が遅れる中、私たちは、希望や期待よりも、不安感でいっぱいになりながら、本学での一日一日を過ごしていたように思います。

そのような私たちの不安を取り除き、私たちの心に寄り添い、安心して大学生活をスタートさせて下さったのは、本学の教育環境であり、学生に対して親身にご指導下さった諸先生方、そして、事務職員の方々でした。

この六年間、先生方は常に熱意を持って私たちと向き合い、診療後の貴重な時間を学生の質問に答えるために費やして下さいました。どんなに遅くなくても、「よく質問に来てくれた」「いつでも相談に来なさい」と、笑顔で温かい言葉をかけて下さり、また、勉強や大学生活の様々な悩みにも丁寧にご相談に乗り、励ましていただきましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。

事務職員の方々も、私たちが充実した大学生活を送れるようきめ細やかにサポートして下さいました。卒業生を代表して、心から御礼申し上げます。

私たちは、本学の緑豊かなキャンパス、恵まれた学

習環境の中で大いに学び、自らを成長させることができました。そして、かけがえのない友と出会い、友情を育み、仲間との絆を深めて参りました。

部活動のメンバーと協力し、盛り上げた学園祭。優勝を目指して熱く燃えた球技大会。いずれも学年の壁を越えて戦い、団結を深めた思い出です。

本学において、楽しいときを共有し、辛く苦しいときは励まし合い、共に乗り越えて生まれた友との絆は、私たちにとって、一生の宝物です。数々の思い出と共に、今振り返れば長いと思われた六年間は、あっという間に過ぎてしまいました。もしできることなら、本学で出会った素晴らしい友と、もう少し本学で学びたいと思うほどです。

また、私たちがこのように幸せな気持ちで卒業の日を迎えられたのは、いつも温かく支えてくれた家族のお陰です。奥羽大学への入学を後押ししてくれたからこそ、私たちは本気で充実した学生生活を送ることができました。心から感謝しております。

私たちは、明日からそれぞれの道へと進みますが、混迷する現代社会の中で、奥羽大学の卒業生であることを誇りに、本学で学び得た知識と経験を力に、社会のさらなる発展に貢献して参りたいと思います。そして、常に本学の教育理念を心に刻み、高度な専門知識と技術を備えた、人間性豊かな歯科医師・薬剤師を目指していく所存でございます。

本日まで、ご指導下さいました諸先生方並びに大学関係者の皆様に心から感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、諸先生方、ご来賓の皆様の一層のご健勝を願い、奥羽大学の益々のご発展を心よりご祈念申し上げ、答辞とさせていただきます。

平成28年度学位授与論文題名一覧

学位取得者	専攻・講座	論文題名
富田 修	生体管理学	The effect of dexmedetomidine on the oral mucosal blood flow - Its effect on the absorption of lidocaine -
伊谷野秀幸	成長発育歯学講座	Fractal analysis of cranial suture during growth
森蔭 直広	顎口腔外科学	Topographical relationship between positions of lingual foramina and attachment of mylohyoid muscle in mental region
双石 博之	顎顔面口腔矯正学	骨格型分類による日本人小児の舌圧と顎顔面形態との関係

卒業記念贈呈式

3月8日(水)午後1時から学長室において、平成28年度卒業記念品贈呈式が行われた。卒業生を代表して、歯学部 島崎健一郎さん、薬学部 松崎裕弥さんからそれぞれ10万円が贈呈され、清野和夫学長より、本学の学生教育のために大切にに使わせていただきますとの謝辞があった。



歯学部贈呈式



薬学部贈呈式

歯学部卒業記念パーティ

3月10日(金)卒業証書・学位記授与式後、午後7時よりホテルハマツにおいて歯学部第40期卒業準備委員会の主催により卒業記念パーティが開かれた。

橋高一郎父兄会長から感謝のことが述べられた後、大野敬歯学部長、渡辺友彦同窓会長から祝辞があった。学生代表の小松弘明さん、清野和夫学長らで樽酒の鏡開きを行い、第6学年主任山崎信也教授が卒業生に贈ることとともに、今後の卒業生の活躍を祈念して声高らかに乾杯が行われた。

卒業生らは恩師や学友、保護者と本学での学生生活の感謝や思い出を語り、卒業を惜しむように歓談が続いた。



薬学部謝恩会

3月10日(金)午後6時から、郡山駅前のビューホテルアネックスにおいて、薬学部第9期卒業準備委員会の主催による謝恩会が開かれた。

準備委員会委員長和泉かおるさんの開会宣言、薬学部父兄会長菅野淳一氏の挨拶に続いて、薬学部長衛藤雅昭教授が、混迷する社会に正面から相対し、責任を持って行動する薬剤師になってほしいと、卒業生たちへの期待を述べられた。6学年主任佐藤栄作教授が乾杯の音頭をとると、皆、恩師や学友たちと和やかに語り、別れを惜しむ光景が繰り返された。



歯科医師国家試験

2月4日(土)、5日(日)の2日間、宮城県仙台市ほかの会場において、第110回歯科医師国家試験が行われた。

3月17日(金)に厚生労働省及び各地方厚生局で合格者発表があった。本学からは130名が受験し、合格者は40名であった。そのうち新卒者は31名が受験し、合格者は17名であった。

薬剤師国家試験

2月25日(土)、26日(日)の両日、産業見本市会館サンフェスタ(宮城県仙台市)ほか会場にて第102回薬剤師国家試験が行われた。合格発表は3月28日(火)に厚生労働省のホームページ、各地方厚生局で発表された。

本学からは145名が受験し、合格者は75名であった。そのうち新卒者は89名が受験し、合格者は37名であった。

全学FD・SD研修会

2月8日(水)、一日の業務を終えた夕刻に、全学FD・SD研修会を実施した。

今回は、1. 奥羽大学における危機管理 2. 薬学教育評価の意義と対応の2つのテーマで研鑽を積んだ。

第1のテーマにおいては、清野和夫学長より、本学における危機管理の方針と危機が発生した場合の対応について説明があり、第2のテーマにおいては、衛藤雅昭薬学部長より、平成30年度に受審する薬学教育評価の意義と対応について概略が紹介された。



福島県地域医療介護総合確保基金事業・無菌調剤室共同利用研修会



2月11日(土)及び26日(日)、本学にて薬学部教員が講師となり「無菌調剤室共同利用研修会」が開催された。今般、在宅療養の推進に伴い保険薬局における注射剤混合調製業務の普及が急務となっている。この社会背景を受けて、県の事業として郡山薬剤師会に市中の保険薬局勤務者が共同利用できる無菌調剤室が設置された。本研修会は、郡山薬剤師会の要請により無菌調剤室共同利用者のために注射剤の無菌調製に関する理論、手技並びに感染制御について講義・実習を行ったものである。

学生ボランティア事業報告会について



3月15日(水)、郡山市ニコニコ子ども館において、郡山市内大学との協定に基づく学生ボランティア事業報告会が開催され、本学から薬学部3年生の庄司豊さんと白石ミキさんの2名が学生代表として、職員2名とともに出席した。庄司さんと白石さんは、コミュニケーション力が身に付いた、もっと多くの児童生徒と関わりたいとの感想を述べ、非常に有意義な経験であったと振り返っていた。

本事業は郡山市教育委員会との学生ボランティアによる児童生徒の学習支援等への参画に関する協定によるもので、本年度は歯学部2名、薬学部6名が延べ25日間のボランティア活動を行った。

本学は今後とも、郡山市教育委員会が実施する児童生徒の教育事業に協力していく所存だ。



郡山から世界へ ～朝河貫一の業績～

図書館長 安藤 勝

歴史に「もしも・・・」があるならば、あの太平洋戦争は避けられた。というのは、戦争責任者である東条英機の談話に「もし親書が数日早く着き、ハル・ノートがもう少し協動的であったならば、戦争は始めえなかったであろう」と衝撃的な発言があるからだ（来栖三郎『泡沫の三十五年』）。

ここに出てくる親書とは1941年12月6日、アメリカのルーズベルト大統領が日本の天皇陛下あてに呼びかけた重大文書のことで、実はこの親書の草案起草者が安積高校出身、アメリカ在住、イエール大学教授朝河貫一であった。親書は超緊急電報で日本の大使館に送られたが、翻訳に時間がかかり、その上配達に10時間遅れて、東郷外相が天皇に全文を読み上げたその時、真珠湾攻撃は開始された。

このことはあまり知られていないようだが、阿部善雄著『最後の日本人—朝河貫一の生涯』に書いてある。

朝河貫一（1873-1948）は野口英世と同時代の人。ともに福島県生まれで、人生の大半をアメリカで過ごした。東京専門学校（早稲田大学の前身）卒業後渡米、アメリカで日欧封建制を研究、鹿儿島に伝わる入来文書（英文）の研究で知られた。彼はイエール大学教授という肩書だけではなく、世界的な歴史政治学者として平和メッセージを提唱した。また一貫して日本の中国大陸進出を懸念、日本軍の大陸よりの撤退を主張した。全体主義国家イタリア、ドイツ、日本は敗北するであろうとも予言した。アメリカに対しても「アメリカは日本の理解が欠如している。アメリカは謙虚という学科を新しく学ばなければならない。あまりにもブルドーザー的だ」と忠告した。

朝河の別な面として、日本関係図書の収集に大きな成果を上げた。帰国のたびに関係各所を奔走して、アメリカ議会図書館とイエール大学図書館へ膨大な図書を運んだ。議会図書館の日本関係図書の多くは彼によって収集されたという。本学図書館所蔵『米国議会図書館蔵日本古典籍目録』を見ると朝河本には「朝河」の印が付されている。大正12年の関東大震災のとき、壊滅した東大図書館再建のため、東大図書館長和田万吉は朝河に米国図書の寄贈を依頼した。今日、東大図書館にはこのときの洋書が残されている。

2007年、イエール大学に朝河ガーデン記念碑が設立された。碑文には平和論者、図書館員、歴史学者と記されている。

自著を語る

『スタンダード生化学・口腔生化学』

池尾隆 加藤靖正ほか 学建書院 2016.4

本書は、日大の安孫子先生や大塚先生が中心となって2003年に刊行され、学問体系の確立に貢献した「スタンダード生化学・口腔生化学」（学建書院）の第3版である。今回より著者に加えて頂いた。分担箇所は、第1章（生化学に必要な化学の基礎）、15章（癌の生化学）である。特に第15章では、生化学が組織学や病理学、薬理学等と密接に関わってくるのが実感できる内容となっている。本書は、見開きで1項目単位を基本として見やすく編纂されており、もちろん歯学コアカリキュラムや歯科医師国家試験に準拠している。日常の講義ではもちろんのこと、CBTや国家試験対策として十分に活用してほしい1冊である。

（歯学部口腔機能分子生物 教授 加藤靖正）



厚生労働大臣指定機関へキャリアコンサルタントの登録



口腔衛生学講座 医療倫理学分野 車田 文雄
放射線診断学講座 茂呂 祐利子

大学でのキャリアコンサルタントの役割は、学生の個別カウンセリング、履歴書、エントリーシートの添削、面接指導、その他キャリア教育関連業務などです。

私達2名は、職業能力開発促進法における「キャリアコンサルタント」(国家資格・名称独占)を、2016年度に取得することが出来ました。車田は大学カウンセラーのアドバンストとして、茂呂はクラス担任としての学生教育の一環において、厚生労働大臣認定機関での講習・能力評価試験やキャリアコンサルタント国家試験(筆記試験、実技試験<論述試験・ロールプレイ>)を受験しながら自己研鑽していたところです。現場での活動としては、6年生のマッチング支援・相談、研修医の研修修了後の就職支援および大学院入学への相談等です。文部科学省が謳う高等教育におけるキャリア教育の基本的な考え方は、「自らの視野を広げ、進路を具体化し、それまでに育成した社会的・職業的自立に必要な能力や態度を専門分野の学修を通じて伸長・深化させていく段階である」としています。私たちは上記活動を、引き続き支援していく所存です。この紙面を借りまして、教員のみならず、学生の就職等に関わる職員の方々も、是非、本資格取得にチャレンジしていただければと考えています。

歯学部国際学会参加報告

学会名：国際歯科研究学会 (IADR) 開催期間：3月22日(水)～25日(土)

開催都市：米国・サンフランシスコ

発表者	所属	演題名
田中克典	大学院3年生	顎骨及び粘膜の血管におけるアドレナリン作用の組織学的研究
工藤香菜恵	大学院3年生	顎骨内における神経線維分布の組織学的研究

附属病院

臨床研修修了式

平成28年度歯科医師臨床研修修了式が3月28日(火)に附属病院臨床講義室で挙行了された。

はじめに、呼名された研修歯科医29名一人ひとりに、杉田俊博病院長より修了証が手渡された。病院長からは、長い歯科医師人生が始まる、興味ある分野の研修を継続して欲しい、との訓示があった。また、清野晃孝研修管理副委員長から熱いエールが送られ、式は閉じられた。修了証を手にした研修歯科医は、それぞれの進路での活躍を誓い合っていた。



奥羽大NOW

郡山富田駅の開業について

このたび、4月1日から本学正門の西側約250メートルの場所（セブンイレブン郡山奥羽大学前店の県道、線路を挟んだ反対側）に、磐越西線「郡山富田駅」が開設されることになりました。私は、一昨年来、新駅に関する地域住民との連絡協議会に大学を代表して出席して参りましたので、この機会に新駅の概要を説明させていただきます。なお、本駅は、地元自治体の要望によりJR東日本が設置する請願駅ですので、その整備費約20億円は郡山市が負担しています。

「郡山富田駅」は無人駅となりますが、自動券売機、Suica対応改札機、待合室、公衆トイレ（オストメイト対応多目的トイレ併設）、タクシースペース、一般車停車スペース、駐輪場が設置されます。駅舎の位置は本学から見ますと、県道、線路を挟んだ向こう側となりますが、エレベーターを備えた跨道・跨線橋がセブンイレブン脇に設置されま

すので、利用者は安全に駅に向かうことが可能です。なお、駅への車でのアプローチは若干複雑で内環状線からの入路となります。

列車の発着は、上り（郡山方面）18本、下り（会津若松方面）19本の全ての列車が停車し、郡山駅からの乗車時間は約5分が予定されています。列車の時間は正確ですので、雨の日や寒い冬の夕方から夜にかけて、いつ来るかも分からないバスを待つ不便さから解放されます。また、料金は、郡山駅から現金190円、Suica 185円となりますので、バス利用に比べて、時間、費用共に格段に利便性が向上します。

「郡山富田駅」は、本学学生や教職員の通学・通勤の足として、さらに附属病院の患者様、大学を訪問される同窓生など、本学の関係者すべての皆様にとって大きな役割を果たすことが期待されます。（薬学部 押尾茂）



スポーツ学友会

バドミントン大会

平成28年11月12日(土)、13日(日)の二日間、本学の体育館においてバドミントン部主催の東北地区歯科大学バドミントン大会が開催された。参加大学は岩手医科大学歯学部、東北大学歯学部、新潟大学歯学部、日本歯科大学新潟生命歯学部および奥羽大学で参加者は92名であった。今回は健闘するものの本学バドミントン部の入賞はかなわなかった。



〈男子団体〉

優勝：岩手医科大学歯学部

準優勝：東北大学歯学部

三位：日本歯科大学新潟生命歯学部

〈女子団体〉

優勝：東北大学歯学部

準優勝：日本歯科大学新潟生命歯学部

三位：岩手医科大学歯学部

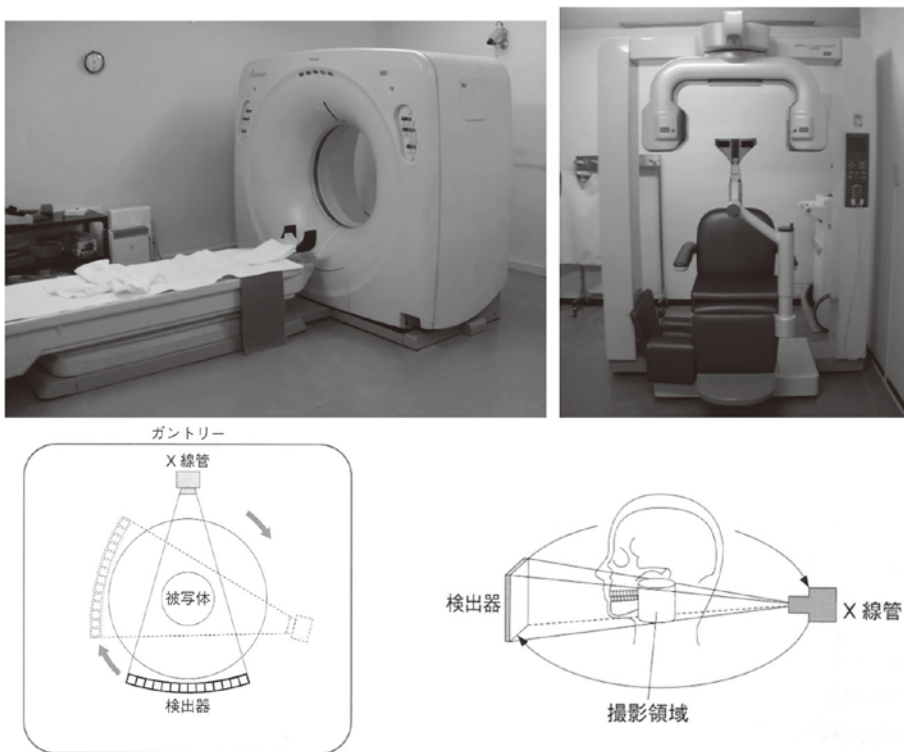
歯学部研究紹介

歯科用コーンビームCTの活用

放射線診断学講座 歯科放射線学分野 教授 原田 卓哉

歯科用コーンビームCTは今世紀初頭に発表され、3次元表示や画像再構成(方向や断面を変えて画像を作り直すこと)が可能なることから急速に普及が進んでおります。当初は単独機が開発されていましたが、現在ではパノラマエックス線撮影装置との一体型が主流を占めております。パノラマエックス線撮影はもともと歯や歯列を観察するために開発されましたが、現在では骨粗しょう症や動脈硬化のスクリーニング検査に対する有用性が注目され、生活習慣病予防の一角をなすものと期待されています。放射線診断学講座ではこういう特徴を持ったパノラマ装置と一体化した歯科用コーンビームCTの有用性を拡大させることを最終目的として、まず物理的評価を手掛かりに研究を進めているところです。

総合病院などに設置されている(本学附属病院放射線科にも設置されています)CTと歯科用コーンビームCTとの違いを図に示します。



図：これまでのCT(医科用CT)と歯科用コーンビームCTの違い
(歯科放射線学第5版、医歯薬出版、2013、152ページ、143ページより引用)

歯科用コーンビームCTはこれまでのCTと比較して照射野が狭いため、より細かい部位の表示や被曝量の低減が可能になります。放射線診断学講座ではこのような歯科用コーンビームCTの特性を生かすべく研究を続けております。

有用なエックス線検査であるためには、より少ない被曝量でより多くの情報が得られることが必要ではないかと放射線診断学講座では考えています。これを少しでも実現できるように努力していきます。またお子様、ハンディキャップを持つ方ならびに有病者の方を対象とした歯科治療のニーズに対応すべく、負担の少ないエックス線検査法開発についても少しずつ進めていく所存です。

薬学部研究紹介

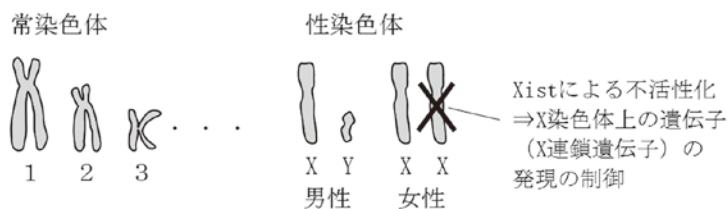
X染色体不活性化を中心とした胎生期化学物質曝露に関する研究

生物・衛生化学分野 講師 熊本 隆之

染色体は遺伝情報の伝達を担い、ヒトでは22対の常染色体と1対の性染色体(男XY、女XX)の計46本を有しています。Y染色体はわずか78遺伝子と小さく、性決定以外に目立つ役割は少ないですが、X染色体は1,098遺伝子と14倍もの量を持ち、ここには脳神経や生殖、免疫、代謝などの発達に重要な遺伝子が数多く存在しています。さて、女性は男性の2倍のX染色体を有しますが、実際のX連鎖遺伝子の発現量は男女とも同程度であり、この理由は胎児期に片方のX染色体の活性を抑えるX染色体不活性化という機序が働くためです。不活性化はXist遺伝子が単独で開始、実行し維持しますが、我々の研究では、妊娠期のビスフェノールAなどの化学物質曝露等がXistやそのブレーキ役のTsix遺伝子を変動させ、様々なX連鎖遺伝子を変動させてしまうことを明らかにしました。このことは、全く新しい毒性機序を提示することに加え、XistとTsixのわずか2つの遺伝子の変動を観察することで将来の影響を予測できるバイオマーカー(生物指標)となる可能性と、なぜ1つの化学物質が脳や生殖など多様な毒性を示すのかを説明できる可能性があり、研究を進めています(総説: BioClinica 2016、日衛誌2017。科研費挑戦萌芽H23-25、若手(B) H28-29の助成を受け実施しています)。

また、昨年より内閣府助成(食品健康影響評価技術研究H28-29)を受け、本学歯学部今井元准教授、鈴木礼子准教授らと発生毒性試験における胎児骨格変異の毒性学的意義に関する研究を実施しています。新たな医薬品や農薬などの許認可にあたってはガイドラインに準拠した毒性試験を行い、胎児影響は発生毒性試験により観察されていますが、過剰肋骨などの骨格変異は生じる要因が不明であり、出現した際はリスク評価に困難が生じています。そこでモデル動物を構築し、機序の解明を試みています。

このほか、本学薬学部の和田重雄准教授と連携し、化学物質の環境リスクが一目でわかる環境教育教材の開発と教育実践(日本環境教育機構環境教育基金助成事業、H29)、教育用ロボットを用いる確かな学力の育成と福島の科学技術振興(福島県学術教育振興財団助成事業、H27-29)に参画しています。



図：染色体とX染色体不活性化

父兄会

平成29年度歯学部・薬学部父兄会役員ならびに主な行事予定と予算については下記の通りである。

歯学部

「平成29年度役員」

歯学部父兄会

会長	西村 郁夫
副会長	野内 学
監査役	田中 裕

「主な行事予定」

定時総会	平成29年 4月 4日(火)
	平成29年 5月13日(土)
	平成30年 3月10日(土)
共済基金委員会	平成29年 5月13日(土)
	平成29年10月14日(土)
	平成30年 3月10日(土)
幹事会	平成29年 5月13日(土)
	平成30年 3月10日(土)

地域会(全体会・個別懇談会)

平成29年 7月 2日(日)	大森東急REI
平成29年 7月 9日(日)	ハートンホテル北梅田

「予 算」

(収入の部) (単位:円)

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	16,847,635
入 会 金	800,000
会 費	9,250,000
地域会参加費	275,000
雑 収 入	3,000
合 計	27,175,635

(支出の部) (単位:円)

科 目	本年度予算額
通 信 費	250,000
印 刷 費	250,000
会 議 費	1,000,000
消 耗 品 費	250,000
旅 費 交 通 費	1,300,000
慶 弔 費	150,000
雑 費	10,000
地域会開催費	1,680,000
課外活動援助費	3,390,000
学生福利厚生費	1,410,000
奥羽大学歯学会協賛費	100,000
学 習 活 動 助 成 費	2,500,000
予 備 費	14,885,635
合 計	27,175,635

薬学部

「平成29年度役員」

薬学部父兄会

会長	菅野 淳一
副会長	澁川 直久
監査役	大和田 しのぶ

「主な行事予定」

定時総会	平成29年 4月 4日(火)
	平成29年 5月26日(金)
	平成30年 3月10日(土)
幹事会	平成29年 5月26日(金)
	平成30年 3月10日(土)
保護者懇談会	平成29年 5月26日(金)
保護者懇談会(4年・6年)	平成29年 8月 5日(金)

「予 算」

(収入の部) (単位:円)

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	14,945,611
入 会 金	1,490,000
会 費	12,720,000
雑 収 入	10,000
合 計	29,165,611

(支出の部) (単位:円)

項 目	本年度予算額
通 信 費	230,000
印 刷 費	100,000
会 議 費	1,300,000
消 耗 品 費	50,000
旅 費 交 通 費	400,000
雑 費	160,000
課外活動援助費	1,400,000
学生福利厚生費	13,950,000
予 備 費	11,575,611
合 計	29,165,611

本学関係新聞記事案内(平成28年4月～29年3月)

(図書館調べ)

*日付は新聞掲載日です。記事のコピーファイルは図書館1階にあります。

- 平28. 4. 5 奥羽大、東日本も入学式 建学精神尊び勉学(福島民友)
- 平28. 4. 5 復興担う人材に 大学、高専入学式 奥羽大(福島民報)
- 平28. 4. 5 奥羽大学長に清野氏 「誠の精神」養成 清野氏(福島民友)
- 平28. 4. 5 奥羽大 学長に清野氏 (福島民報)
- 平28. 4. 6 薬局の店舗を考案 郡山 奥羽大薬学部学生2人 小児対象、母親の気持ち重視 授乳室、キッズスペース設置 (福島民報)
- 平28. 4. 6 ひと 奥羽大学長に就いた 清野和夫さん(福島民報)
- 平28. 4. 7 レゴで小児向け薬局 奥羽大 神山さん 渡辺さんが挑戦(福島民友)
- 平28. 4.11 アイディア満載の薬局を設計 奥羽大学 薬学生インターンシップ(大学新聞)
- 平28. 7. 1 平田を“薬草の村”に 農業振興、6次化商品開発へ 奥羽大と協力 きょう調印式(福島民報)
- 平28. 7. 1 歯科医師・薬剤師体験しよう 16日に奥羽大で講座(福島民報)
- 平28. 7. 2 平田で薬草試験栽培 村と奥羽大協定 遊休地活用の産業化視野 (福島民友)
- 平28. 7. 3 離島医療 地域で生かす 奥羽大薬学部多根井ゼミ生が研究 (福島民友)
- 平28. 7. 6 奥羽大・神山さん 隠岐の島訪問 薬剤師の役割調査 (福島民報)
- 平28. 7.18 薬剤師の仕事学んだよ 児童が体験 奥羽大生ら指導 (福島民友)
- 平28. 8. 2 リン原子で新薬に挑戦 奥羽大・薬学 山岸丈洋教授 知の現場9 (福島民友)
- 平28. 8.28 奥羽大公開講座 3日にスタート 24日まで計4日間 歯や薬テーマ(福島民報)
- 平28. 9. 2 災害時の調剤薬局対応策で意見交換 奥羽大ゼミ(福島民友)
- 平28. 9. 6 糖尿病患者に警鐘 奥羽大の衛藤教授ら 骨粗しょう症は合併症 臨床研究で立証 骨密度低下10年早く(福島民報)
- 平28. 9.10 災害時の薬局対応 奥羽大薬学部生ら学ぶ (福島民報)
- 平28. 9.20 高校生、大学生活を体験 奥羽大オープンキャンパス (福島民報)
- 平28. 9.23 歯周炎原因細胞 検出法確立、特許を申請 奥羽大薬学部大島教授ら 英科学誌に掲載(福島民友)
- 平28.10. 3 歯科医療の在り方学ぶ 東京歯科大、奥羽大 同窓会セミナー (福島民報)
- 平28.10. 7 医薬品の配置販売 奥羽大薬学部生4人が見学 猪苗代 各家庭訪問に同行(福島民報)
- 平28.10. 8 口腔外科小手術など解説 東京歯科大、奥羽大の同窓会 (福島民友)
- 平28.10.10 奥羽大薬学部生が「調剤薬局での危機管理」でインターンシップ (大学新聞)
- 平28.10.10 頼れる薬剤師を目指して インターンシップ開催 奥羽大学 (大学新聞)
- 平28.10.16 奥羽大生が医薬品の配置販売形態を学ぶ (福島民友)
- 平28.10.19 薬学部生による災害発生時の行動指針に関する少人数討論実施の報告 多根井重晴准教授らの研究グループ (薬事日報)
- 平28.11.10 薬学部生が配置販売を体験 日本独自の販売形態 奥羽大学 (大学新聞)
- 平29. 1.10 海の生物から新薬開発 奥羽大薬学部・海洋天然物化学 石山玄明准教授 知の現場19(福島民友)
- 平29. 3.11 歯科医、薬剤師へ「社会に貢献を」奥羽大で卒業式 (福島民友)
- 平29. 3.25 「ふくしま人 薬剤師 蒲生明 第1回」(安藤勝)(福島民報)

同窓会だより

創立30周年を祝う

箱島 光一(栃木県支部長 歯学部4期生)

平成28年11月27日(日)栃木県支部創立30周年記念式典・祝賀会が開催されました。

大学からは清野和夫学長、大野敬歯学部長、渡辺友彦同窓会長にご臨席いただき、来賓として栃木県歯科医師会会長ほか各地域歯科医師会会長さらには県内各歯科大学同窓会・校友会の代表者、同窓生を合わせますと総勢100名を超える盛大な会となりました。残念ながら晴川学舎影山英之理事長の出席は叶いませんでしたが、式典にて清野学長と渡辺同窓会会長より祝辞を頂き、祝賀会では大野歯学部長による乾杯の音頭を取って頂き祝宴に華を添えて頂きました。また、日本歯科医師会副会長柳川忠廣先生より心のこもった祝電を頂き会員一同感激致しました。

現在、県内11地域歯科医師会ありますが同窓生が二人、会長を務めております。お二人とも人柄が認められて地域のリーダーシップを発揮されておられます。

支部の活動を通し奥羽大学の理念「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」を同窓生として継続してゆき歯科医師として地域医療・保健衛生事業にと幅広く貢献し、歯科医師会に於いても活躍する人材を輩出できればとの思いを強くした会となりました。

今後40周年50周年と節目を重ねられる様、地道な活動を継続する事が肝要なものとお肝に銘じる次第です。

同窓生のひろば



1979年⇄2017年

タイムスリップ

桜庭 裕(歯学部2期生)

奥羽大学青森県同窓会支部長、村上寿宏先生に代わり寄稿させていただきます。青森県在住の

卒業生は60名弱で現在同窓会入会会員は50名と支部長より報告を受けています。

同窓会の年間イベントはほぼ他県と同様と思われますが春から初夏に於いては総会と学術発表会、秋から初冬には忘年会が開催されます。それぞ

れにおいてゴルフ、ボウリング大会などの懇親の場も設定されています。上の顔写真はおよそ40年前の私の学生時代のものです。私達二期生は同期会を毎年、幹事開催県持ち回りでを行い懇親を継続していますが、今年は「二期会IN青森」で8月5日ねぶた祭りの参加見物の懇親会を計画しました。当日は66名の同期生ご家族の出席予定で青森の祭りを大いに盛り上げる事と思っております。

一昨年は鹿児島市で開催されました。それまで同期会参加2度目だった私は36年ぶりに対面した同級生は少なくありませんでした。お互いの自己紹介からまさに衝撃!

タイムスリップさながらの脳、身体の活性化で若返りトークに時間も忘れる程でした。

昨年の同窓生の集合写真を掲載します。直近の私わかりますか?皆様にとっても懐かしい顔もしくは<この人誰だっけ?>なんてあるかも知れませんね。じっくりとご覧になり38年前にタイムスリップしましょう。



2016年 支部同窓忘年会にて



2016年 奥羽大学(東北歯科大学)二期会にて

同窓生のひろば



佐久間 隆道(文学部1期生)

「まずい、寝過ぎて遅刻した!今日のテスト受けられなかったら卒業出来ないのに…。留年か!いや、待てよ。俺はもう奥羽大学を卒業して社会人になったはず

だぞ?夢だ、あー良かったまたいつもの夢を見たのだ」。同窓生の皆様はこんなドキドキした朝を迎えたことはありませんか。在学中は劇団狂四朗を立ち上げ、国際コミュニケーション研究会等々のサークル活動に没頭し過ぎて本業を疎かにしていたツケでしょうか?大学を卒業して郡山市内のホテルに就職した私は40歳過ぎまで不定期にそんな夢を見ていました。夜が明けると仲間と答えの出ない話に熱くなったこと。昼食後に躍進の像前での日向ぼっこ。学部を越えて盛り上がった大学祭。記念講堂での定期公演。真夏の猪苗代湖。深夜の国道4号線の温かさ。大学で学んだ事、経験した事は私の人生の糧であり、その時代に形成された人格や思考で今も生きています。言い換えれば未だに学生気分が抜けていないという事でしょうか。

そんな私も今はもう48歳。実は昨年良いご縁をいただいて、23年間勤務していたホテルを退職して、奥羽大学に転職させていただきました。それまでは本気で転職なんて考えた事もなかったのに、大学で職員募集があると知った私は履歴書を速攻で書いていました。私のように?現在の学生の皆様に有意義な大学時代を送って頂きたい、その一助になればという思いが私をそうさせました。

大学に勤務して1年。今あらためてわかった事があります。大学の先生方、職員の皆様には、学生への変わらぬ愛情があるという事です。私の大学時代も、当時は気付かなかったけれど、実はその愛情に見守られていたからこそ有意義に送られたのだと思います。今は只々感謝です。

同窓生の皆様は、今まさに働き盛りでご活躍のことと思いますが、たまには少し立ち止まって、眩しかった大学時代を思い出してみるのもいいかもしれません。きっと心がほっこりすることでしょう。間もなく桜のシーズンがやってきます。皆様はそれぞれの場所で桜を体感されることと思いますが、我が母校の桜も当時のままの変わらない美しさです。同窓生の皆様の今後益々のご活躍をお祈りしています。

退職によせて



歯学部
歯科補綴学

教授 寺田 善博

平成25年3月31日付けで九州大学を定年退職し、1年後の平成26年4月1日付けで本学に赴

任以来3年間の任期が満了し、3月31日をもって退職することとなりました。採用辞令を頂いて数日後には講義が始まるということで、講義の準備が大変でした。何とか講義をしましたが、講義内容や配布資料等について多くの指摘を頂きました。自分なりに講義内容を検討して、できるだけ分かりやすい講義をするように努めてきたつもりです。しかし、6年生の「臨床総合演習」と「卒業試験の作問」については前任校での経験が無く、かなり苦勞致しました。

研究については、特に大学院生を学会に同行させて雰囲気を感じてもらい、その後学会に演題を出すところまでできました。今後の指導は生体材料科学分野にお願いすることになりますが、いまでは自主的に研究を進めるようになってきましたので、今後は楽しみです。

最後になりましたが、本学のご発展を祈念致します。本当にありがとうございました。

人事

<再任用>

河野 晴一	教 授	薬 学 部	1月 1日付
高橋 則男	教 授	薬 学 部	3月21日付

<採用>

佐藤 千聖	事 務 職 員	歯学部学事部	2月 1日付
-------	---------	--------	--------

<定年>

河野 晴一	教 授	薬 学 部	12月31日付
高橋 則男	教 授	薬 学 部	3月20日付

<退 職>

寺田 善博	教 授	歯科補綴学	3月31日付
関根 貴仁	講 師	歯科補綴学	〃
伊藤 隼	講 師	歯科補綴学	〃
濱田 智弘	講 師	口腔外科学	〃
西村 幸恵	講 師	成長発育歯学	〃
桑田 明	講 師	日 本 語 学	〃
田中 恵梨	助 教	附 属 病 院	〃
昆野 加奈子	助 教	附 属 病 院	〃
岡田 隆寛	助 教	附 属 病 院	〃
井ノ上 靖尊	助 教	附 属 病 院	〃
永田 裕紀	助 教	附 属 病 院	〃
柳田 みずき	助 教	附 属 病 院	〃
菊地 隆太	助 手	口腔外科学	〃
八巻 史子	講 師	薬 学 部	〃
園部 泰	技 術 係 長	総 務 部	〃

奥羽大学の理念・目的

理 念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する

目 的

奥羽大学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）並びに学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することし各学部はその目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

平成29(2017)年度 奥羽大学オープンキャンパス実施日程

開催日	時間	内容
7月15日(土)	10:00~13:00	学部紹介、入試説明、ミニ講義 キャンパス見学、実習体験、個別相談、学食体験 等
8月2日(水)	12:00~16:00	学食体験、学部紹介、入試説明、ミニ講義
8月3日(木)	12:00~16:00	キャンパス見学、実習体験、個別相談 等
9月2日(土)	10:00~13:00	学部紹介、入試説明、ミニ講義 キャンパス見学、実習体験、個別相談、学食体験 等
10月14日(土)	10:00~13:00	個別進学相談会
2018年 3月26日(月)	13:00~16:00	学部紹介、ミニ講義、キャンパス見学、実習体験、個別相談 等

■事前予約要

■入試説明有り

■JR郡山駅からの送迎有り

■問合せ先

奥羽大学 企画・広報課 024-932-9055

奥羽大学報153号(通算No.278)平成29年3月31日発行

発 行 奥 羽 大 学
学 報 編 集 委 員 会
委 員 長 清 野 和 夫

☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1

電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372

ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>

メールアドレス info@ohu-u.ac.jp

※「奥羽大学報」送付先変更の方は、FAXまたはメールでご一報をお願いします。